**銀河鉄道の夜**

　こんにちは。私はアニャです。オスロ大学の一年生です。今日は、私の愛する本について話したいと思います。その本の名前は「銀河鉄道の夜」です。

　「銀河鉄道の夜」は、年に出版された宮沢賢治の作品です。この本は、子供向けの形で書かれていますが、私は、誰でもこの本に異なる意味を見つけられると思います。

　はジョヴァンニと言う少年 です。ジョヴァンニは な男の子でしたが、ただ一人友だちがいました。彼の名前はカムパネルラです。

　ある日、町でお祭りがありました。でも、ジョヴァンニは病気のお母さんのためにをもらいに農場へ行かなければなりませんでした。ですが、農場にいた時、がまだありませんでした。彼は山に行って、牛乳を待ちながら、寝てしまいました。

　目をさました時、ジョヴァンニはにある銀河鉄道の列車の中にいました。そこには、カムパネルラもいました。二人はいっしょに旅をしました。たくさんの人に出会って、友情、人生、そして幸せの意味を見つけようとしました。

　でも、ジョヴァンニが知らないことがありました。それは、ジョヴァンニ以外、この列車に乗ってくる人はみんな死んでいるということです。カムパネラもそうでした。彼はお祭りでおぼれている人を助けて、自分がおぼれてしまったのです。旅が終わってそれを知ったジョヴァンニはがいっぱいになって何も言えませんでした。

本はこのように終わっていますが、実は「銀河鉄道の夜」はしていません。宮沢賢治が病気になって死んでしまったからです。でも、だからこそ、誰でもこの物語に自分の意味を見つけられるのだと思うのです。

　私はこの物語は悲しい話だと思います。すべての旅に終わりがありますから。 すべてがいつか終わるなら、すべてに何の意味があるでしょうか？　しかし、旅の意味は最後に見つかるのではなく、で見つけられるのかもしれません。これは人生も同じだと思います。悲しみのない幸せは存在しないし、死のないも存在しません。だから、悲しくても、たくさん希望があると思うのです。

　これが私がこの本の中に見つけた意味です。

これで私のスピーチを終わります。　ありがとうございました。